

保育座談會

—ぬり絵 きり紙—

時 日 九月二十四日 午後二時半から

場 所 東京女子高等師範學校附屬幼稚園

出席者 倉橋教授、堀主事、及川、新庄、菊池、神原、
徳久、白根、澤の各保姆

膳眞親子氏

堀 はじめませうかな。

神原 前に出ました問題——幼兒の仕事の際における保姆の態度、並びに若し保姆の力を加ふべき場合に、如何程の程度に、力を添へてよろしいか。各保育事項についてうかがひ度い——自由畫だけ濟んで居りますからその續きをお話したいとき度ふございます。まづ「ぬり絵」から。

(本會編纂の「ぬり絵帖」を持ちよる)

堀 「ぬり絵」の教育的價值を大變に疑つてゐる人が多いさうだが。こしらへてゐる當方で疑ふ必要はないかもしれぬが、疑つてみるのもよい。

外國の幼稚園では「ぬり絵」を多く見なかつた。

ホーム・スタディ ネーチャ・スタディなどではこれをやつて居る。

倉橋 「ぬり絵」は色々な意味に使はれる。うたがふのは自由畫と「ぬり絵」の關係を餘り結びつける所から起る考へである。

新庄 そうらしいでございますよ。

倉橋 四角いこまを塗るのは、筋肉の調制、注意力の集注、色の配合といふ意味がはつきりしてゐる。

る。

（この時、及川保姆、圖畫の授業を卒へて入り来る。）

倉橋 ネーチュア・スタディーとする「ぬりゑ」は目的が違つてゐるし、その目的ははつきりしてゐる。

堀 その場合は觀察の補助だからね。

倉橋 この「ぬりゑ帖」が餘り藝術的なるために、繪と混雜させて考へるんですよ。

堀 臨畫の様に考へる人があるんだね。

倉橋 この「ぬりゑ帖」を塗つてゐると子供が手本なしでかく時の防禦になると考へるのでせうよ。「ぬりゑ」の本來は「金魚」の描き方を教へるためでない。

堀 方眼紙の目を塗りつぶすのと、この「ぬりゑ帖」と、何方に子供は興味があるだらうか。

倉橋 この帖は生きた興味を主にしてある。

堀 方眼紙の碁盤目ぬりは練習主義

倉橋 この「ぬりゑ」は餘り活きてゐるから自由畫に金魚が遊び出す。

堀 「ぬりゑ」をするために自由畫の表現の方に餘程響きますかね。

及川 氣附きませんね。

徳久 すぐには影響は見られませんね。

堀 子供は輪廓を描かぬから、「ぬりゑ」の線を印象する事は尠い。

神原 繪の方に影響するかどうかと思ひまして、お花——チューリップとか水仙——などのあつた時、組の半分は先に「ぬりゑ」他は寫生、次の日に反對にしてみた事がありますが、「ぬりゑ」の影響らしいものは別に見られないようでした。

倉橋 金魚を描く時の氣持とは別な氣持で塗る、形式興味で塗る。

及川 或る一部の人々にはそれ以外に、「ぬりゑ」による弊害があると思つてゐるのぢやないでせうか。

新庄 いつかの會のあはなしの様子ぢやね。

及川 反省する材料が欲しいから何うぞ仰つて下さう。

堀 で、た、ら、め、に塗るより、輪廓に入れるために、興味が持てるのだらうか。

倉橋 或る法則中に規範されて行く事は愉快ですよ。

堀 何でもよいから、描けと言はれるとちよつと困る。

倉橋 窮屈の快感ですよ。

新庄 都合のいい言葉ですな。

倉橋 吾々の言葉でいへば客觀的法則化の興味だ。

斯々してはい、かんのだよ、或はすべきだと言はれても、吾々では圖々しくてぬける事もある

が、案外、面白いもの。

堀 吾々にも規範、ルールがある。ルールに外れて勝つたのでは面白くない、その束縛の中の勝に面白さがある。興味が剝ぐルールの複雑はいけない。それ丈の束縛あるが故によりこぶと、よろこべないとの材料がある。

及川 塗つて行きますのに同じ場面が多いといやになります。

神原 この前の「ぬりゑ帖」にあつた「へちま」は綠色ばかりで子供はあきます。

及川 「へちま」は、塗る場面が廣いからです。今度の改正版の「ぬりゑ帖」では、それで「ひょうたん」に描き變へました。形が面白いので。

倉橋 「ぬりゑ」の編纂に付いては、繪と違つて、理論丈では標準が立たない。六ツかしい。この「ぬりゑ帖」では塗ることの難易丈ではない。

及川 難易を根本にしましたが、又、季節にも合ふ

ようにしてあります。

倉橋 生活興味の方ですね。

神原 私の組で、ぬりえをしたい／＼とよく催促されます、一週に一回ぐらゐの積りで居りますのに。子供の要求どほりさう度々させてよろしいものでせうか。大抵、みんなの子供が「ぬりえ」が好きです。

及川 三越などで賣つて居りますのを、親が熱心さから買つてやつて家で練習して來ます。

倉橋 「ぬりえ」をさせる分量の問題ですね。子供の性質にもよりますが、正しくまとめる筋肉調節の出來ぬ子には相當に課して——方法主義です——が——よろしいが、一とほり出來る子には、易きにつく、獨創、創意の上にひゞいて來やしないか。こんな子供には、細かい、一層注意を要するものを與へるならよい。

堀 もつと複雑なものにすればいい。幾何學形な

ものに。英國の様に觀察材料としても。色の發表をねらうこともいい。

倉橋 「ぬりえ」は形式陶冶に屬するもの。技巧の心理的基礎に打ち立てられたもの。

堀 僕の様な者には、樂に出來る。

倉橋 第一集の、一學期には、子供のちもちやとか、お庭にある花とか、少しぐらゐ、線の外に出てもいい／＼から、塗つてゆく興味を中心に。それから或る所まで行くとトレーニングにゆくようにしたら何うか。

堀 編纂に、變化をつけたがい／＼かも知れぬ。

倉橋 小さい子供用。上の組用になれば自由畫ぢや得られぬ特殊訓練、幾何形のを塗るように。初めは、外にぬりが出てもいい／＼やうな、出來上りを樂しめるやうなものにする。

及川 第一集は、材料を易くしてありますけれども、なか／＼小さい組では線内にをさまらない。

新庄 子供は縦に、横に、勝手に色鉛筆をつかひます。すがどうしたらいいでせう。

倉橋 それは大事な問題だ。

新庄 小さい組の子では。その都度ぬり方を教へはしますが、本當は何う塗ればよろしいの？

及川 やさしい塗り方に慣らせるのですね。それには塗り方を教へます。

倉橋 心理學的には、縦引とか、横引とか、或は斜上とか、下とか、能率的な線の引方をしらべてあります。が、何ちらですかね。

新庄 自由畫でもごく、初期には、遊びとしてグル／＼の塗りまわしですわ。塗繪で廣い場所になると、困ると見えて、あつちからもこつちからも塗りかけますのね（ある子供の帖の、金魚の池は、横に、縦に、斜に、斯して、やつと青色で水がたゝへ、つめられてある）

一學期のうちにはよくなりますけど。

堀 線の方向を一定させるように指導しなけりやならぬ。

及川 ぬり糸をするのにクレイオンですか、色鉛筆ですかといふ事が問題になつてゐる様であります。

幼稚園によりましてはクレイオンと色鉛筆とを幼児にもたせるといふ事が經濟上許されないところもある様にきゝますが一體「ぬり糸」は細い線でかゝれたものをその線外に出ない様に注意深くぬるといふところに主なる目的をもつて居るのでありますから本體としては「ぬり糸」は色鉛筆にしてほしいと思ひます。クレイオンでぬればなか／＼ぬりにくゝもあるし色が外へうつてきたなくなりす。

堀 「ぬり糸」帖の範例をみて下さい。批評をうけませう。

及川 外で「ぬり糸」の帖などをこしらへていらつ

しやるのはごく線太で塗り易いのです。線が太いとほみ出ても線の太さ丈けはほみ出しても分りまん。こちらのはわざと一寸はほみ出ても分るように線を細くしてあります。

堀 幾何體のは、出来る丈、線の細い所に特長がある。それで塗り方によつて立體にも見えるし、濃淡で色を表はすことも出来る。

倉橋 「ぬりゑ」といふものが特別にある意味は、注意力和觀察をねらふ所にある。序にある

「幼児が繊細に筋肉を働かすことを練習し、注意深く作業する習慣を養成するため、これが主だ。ところで、「ぬりゑ」の教育効果はありますかね。

新庄 ごさいました。

倉橋 さう、何にしても、歴然と結果の出るものではないませんが。何んな工合にです？

新庄 長いお休みをしたり、一體に、外の子と同じ

ように進んで行かれぬ様子ですから仕事への手はじめとしてまづ塗繪を少し餘計にやらせたらと思つてゐる所へお母さんからもそんな希望があつて別に一冊家庭で塗らせた様です、もう此頃ではその子に特別な心配なしに一緒に仕事が出来うになりました。

倉橋 練習を主にしたものは今の生活主義の保育中でこれ一つ。それでこの効が現れなくちやつたらぬ。

堀 或る點では、もつと、重く見てもよい。他で、生活本位だから、形式淘汰はこれ丈だもの。

新庄 繊紙もさうぢやございませんか。

及川 あれは六ツかしくていやなんですけれど。

倉橋 あれは、條件を満たすべく六ツかしい。「ぬりゑ」の方が易かしい。

及川 繊紙は子供には、見先が付かないから、むつかしいしあれを手技の一つとしてするのに、話

題にし研究して見たいと思ひます。

新庄「注意力」といふ點では、「ぬりゑ」も織紙も同じように思ひますが。織紙は全然使はない方がよろしいでせうか。

倉橋 この機會に、云つてしまつときですが、織紙は、私は賛成しない部に入れます。練習の効果は出るけれどあれは物を取扱ひ、製作する部に入る。こさへてみるだけでは餘り意味がない。及川 それでも、色の配合などといふちがふ方面からは又よいところもあります。私も全體織紙はすきではありません。

倉橋 話を「ぬりゑ」にかへして、注意練習の効果は暫くのけてみることにして、繪の方は、自分で鉛筆を持つて描くのだから線が少しぐらゐ行き過ぎたつて權やしない。却つて味があると思へるかも知れない。が、「ぬりゑ」だとそう思へない所に、自己矯正がある。はみ出たのを消さ

うとしませぬか。

神原 近頃、自分で消しゴムを持つて來て居て、しきりに消して居ります。

堀 そこが日本人の長所でもある。日本の子供は描き損じは直ぐに消す。畫でも、行動でも規範に入る様に出來てゐる。

倉橋 注意の散漫な子供には、少し筋肉調整の悪い子供には——幼稚園の立前は練習主義ではないが、中には特に何かを爲す子供が居るから——「ぬりゑ」をさせる。

堀 及川さんの方の誕たらしめた子は出來ないだらう？

及川 何時も、私がつきつきりてやらせて見ます。

堀 大きい事は出來るのだが。今日も梓登りの頂上に手ばなしで立つて見せたが、大ぜいゐた中で、その出來るのはあの子一人。あんな子供の教育は矯正體育、矯正治療式、矯正法。

倉橋 本當の疑ひを云へば、小さい時から矯正も出

来るけれども、幼稚園あたりでそういふことま
いことが何れ位價值のあるものかといふ點にあ
る。大人物になるには、そんなことはどうしても
いゝかも知れないから。しかし普通人として考
へる時は、やはり、多少、注意周到になるよう
に、訓練の用もあらう。

堀 そりや、抜けて見えるのが、全部西郷さん許
りでもないから。

劃一に扱はなけりやよい。

倉橋 少し大きくなつて、自分で多少、表現が出來
るようになつたら、結果よりも、注意集注を要
する風なものを主にした方がよい。第三集をつ
くろうぢやありませんか。

及川 二年保育ぢやこれでも六つかしいのですか
ら。

倉橋 自由なる興味の反對ですからね。吾ながら規

則正しくぬれて満足だといふもの。も少し、全
體の面白くないものがあつた方がいゝ。

及川 千代紙のやうなものをかいて、模様をぬらせ
た事があります。

倉橋 そういふものをもつとまぜたら何うです。注
意集注の中にまつまつてゆくやうなものを。

堀 紋型を入れてもよい。

倉橋 大いに考慮を要しますよ。

堀 材料に變化をつける。

倉橋 かゝりまり、ぬりごまになれば抽象フォーム
ではない。

及川 幾何形體ではあるが具體的なものですか。

倉橋 さういはれると躊躇しますかね。

堀 具體的なのを子供はよろこぶ。

倉橋 前には、まりがありましたね。あの調子が無
難かもしれん。何かありさうなものだな。きち
んとした面白味のあるものが。

堀 大體に於て、圖案ものだ。

線なしでね、塗つてゐるうちに、油繪のように形が出来上つてゆく、のは出来ないか。日本の繪は輪廓が先に出来て行くが。

及川 子供は輪廓が先ですね。

堀 ベタ／＼塗つてゐるうちに輪廓が出来て來るといふ工合に行かぬかな、私が外國に行つてゐる時に尋ねられた。子供の繪だの圖案を澤山持つて行つたが、それを見せると、「手本をうつした人だらう」といふ。餘りに輪廓が良く出来てゐるからだといふ。私家の小さい子は輪廓を考へないで塗つてゐる。こゝから發達してゆくといふところはありませんか。

及川 形をこしらへる目的なら、道は二つ、ありますが「ぬりゑ」は線内を塗るより外ありません。

倉橋 「ぬりゑ」なら別だね。

及川 日本畫は線が生命ですわね。

倉橋 吾々の描く線は物の界を示すが。

堀 日本畫は線で生きるが、西洋畫はそうではないらしい。

及川 その代りに、日本畫には明暗がなくて。

堀 日本の子供には、それが、初めからないものか。

及川 あるんでせうね、向ふぢや、小さい子供でも明暗をつけますか。

堀 小さい子は油繪具を使はぬので、そこまでに導くために、はり繪や、むしろ繪をしてゐる。

及川 大きい組に、幾何形體のをやつてみませうか。

新庄 その色は先生がさめるの？

倉橋 色んな場合がある。下繪を一枚きりぢやなく幾枚もこさへておいて、今週も、來週も、使へるとよい。

及川 共同にも使へますわね。

倉橋 共同となると、矯正作用がなくなる。

堀 ニューヨークで半纏くらゐの方眼紙のこまを

塗らせてゐた。

倉橋 臺紙に、四角いこまがあれば幾枚も出来る。

只ニューヨークよりも大きくね。(一同笑)

塗つてみませうと初めから練習主義か、此のこまをきれいに塗つてみませうと言ふか。後者をとる。

この「ぬりゑ」は面白くなり過ぎてゐる。餘り畫がうまくなり過ぎて居る。體操はやはり金火箸式でなくつちや効果がない。ぐにやぐにではね。

堀 醫療體育つていふものは、

倉橋 そこらで行かうぢやありませんか。

徳久 塗る色ですが、實物を得られるものはなるべく實物を見せて塗らせ、自由に塗らせませんが、自由にしますと茶の所に紫を塗つたりします。こういう時はやはり教へた方がよろしいのでせ

うか。

及川 自由に考へて塗らせるとよろしいですね。昨日「兎の餅つき」を「兎が餅ついてゐる所です。

よく考へて好きな色で塗つてご覧なさい」と云

つたら、かなりきれいな色で塗つて居りました。

倉橋 若し、勝手に塗らせるなら、同じ繪を一枚だけぢやつまらない。幾枚も、いろ／＼、塗つてみて、比べてみて、形式淘汰は出来る。

新庄 その場合同じ繪でなくともかまやしませんか。

堀 同じでなけりや六つかしい。

自分のでなくとも、組の中での上手、下手があるだらう、それを比較するのもよい。

倉橋 何うも「ぬりゑ」は一つ繪では、二つ、三つ欲しいね。自分で幾枚かを塗れるといふ。

及川 勝手にぬらせる時、いやな色を塗ると困る。

この色は塗らないようにと云ひます。第一集の

「マユダマ」に茶色などを塗られますと全體が不愉快なものになりますから。

倉橋 それでいゝでせう。無限の範圍で自由をとらせるのみが自由でない。

堀 何ういふ色の組合せて塗らせてゐるか分らないから編輯者として、もう少し、このぬりゑに解説をしてもよい。

倉橋 モデルを見せるのもあるのですね。

及川 小さい組では見せます。

徳久 實物があるのは、なるべく實物をみせ、「風船」とか「おもちゃ」とかは何の色でも好きな色に塗らせます。

堀 各頁毎にも少しく分るように、趣意書をはねむとよろ。

新庄 こゝに本にしてあるのだけでは足りなくつて折々にたして居る人もありませう。

倉橋 一番いゝものは、ぬりゑ原本が提供される事。

島根縣で、綴じたものを子供に持たせる事の可否といふ問題が出てゐた。

堀 とち込み式にやつてゐる所があるね。

膳 京都から出て居りますのはカード式になつて居りまして、全部ちつに入つて居ります。綴ぢあきは先が見えて楽しみがないといふので、一枚宛渡すことになつて居ります。やはり季節に合つて、線は太うございます。その後やめたかも知れませんが、外にはみ出さないためでせう。

堀 やはり、あちらからも出てゐる筈。

新庄 あの「ぬり繪帖」を持つて居りますと、子供があけてみて先の方まで、やりなくなる時があるらしいでございます。

○

及川 ぬりゑはこの位にしてゐて次に移りませう。「きり紙」

堀 材料は何ですか。畫用紙が主ですか。

及川 大抵、模造紙でいたしてあります。

倉橋 「きり紙」といふのは何ういふのですか。後の始末は貼るのをいふのでせう。折つてゐて切る紋型も「きり紙」ですか。

及川 「きり紙」に入れません。紋型は致して居りません。

倉橋 「きり紙」は剪り、貼り繪といふ事になりますか。剪る——ハサミ仕事を主にして居る。

堀 貼る方は仕事の整理ですか。

倉橋 貼らないのもあるでせう。犬とか。うちとか立たせるものは。

新庄 あれは畫用紙でして居ります。

倉橋 「きり紙」は貼るだけでもない。

及川 紋型はずつと以前にはいたしましたけれども今はちつともいたしません。

倉橋 あれは、單なるでずさびで論じる程の物ではな。

新庄 一度紋型を覺えると、それこそ、易きにつくでござ紋型をきるようになります。

堀 きることが目的か。されば斯くなるが目的か。二つありますぜ。

倉橋 きる事にあり。

及川 「きり紙」として、こんなに折つて斯ければ手をつないだ人形とか、ご門とかが出来ると云つた調子のきりぬきの本を出してゐる人があけますね。

倉橋 あれは愚劣なもの。面白いといへば面白いのかもしれないが。あの面白さは、縁日藝人だな。

堀 あの「きりぬき」はきるより出来上つたものに興味を持つ。

倉橋 きる事に興味があるのでなくつちや。

堀 手工は時には出来上りの方にある。

倉橋 あゝいふものを幼稚園でやるのは、たわむれて、まだ。

新庄 小學校の手工と幼稚園のとは、違ひますね。

堀 きるだけに教育價值をおくのですか。

及川 缺の練習になるために線をきらせる。

倉橋 本來は運動感覺で形を作つてゆく。描く線ではない。けいこしてゐる時代は線をたどるが、缺づかひといふ事でせう。

及川 缺づかひは會得出來たとして、自動車をこしらへませうと思へば子供は先に、自動車の形を頭にこしらへなければきまつてゆかれませぬ。

堀 きる目的として、何か、をこさへませうと、そりや目的を思はなくつちや出來やしない。

及川 私ハハサミを使ふのが方便の様に思へますが。

倉橋 ハサミは方便に違ひないけど。

及川 立體と平面の間の製作だと思ひます。

倉橋 問題は、先に頭の中に形が出來てゐて、その形をきるかといふこと。

新庄 はじめは線のあるのをきります。

及川 それで、初め頃に、こんな蝶の線をかいてゐてきらせるのです。

倉橋 何かをきり出す前に、そこでハサミが使ひこなせるやうになる時期がありますね。

堀 そんなハサミづかひなどの練習を幼時にしなければならぬものか。どうか。

倉橋 しなけりや、何うといふ事はない、色んな能力を發達させるといふまで、これが出來ないと人格に何うと云ふこともないさ。バカとハサミは使ひようでせれるとやらいふから、ハサミづかひは餘程すぐれた意義があるのぢやないかね、日本ではね。(笑)

堀 外國ではそんなに意義はないよ。

倉橋 あるよ。

堀 「きり紙」はそんなにしてゐない。西洋ばさみは餘程六つかしいから。ロンドンで材料店をみ

たが割合少い。

倉橋 きつた跡を貼り繪として扱ふのはかなりやつてゐる。さる事に何の價值があるかといふ問題は、ハサミつかひが上手になるのは大した價值ではない。人間が物を道具で思ふ様に征服するこれは自分を征服する事である。四角い紙を丸くする、粘土を丸めるのはマテリアルを征服する愉快がある。

堀 日本では紙が多いし、手先がきょうだといふのは昔から重規されて來た。西洋の子供ぢや、ハサミで、さるのでは間に合はぬからむしろ、むしろ繪となる。日本では、折つてか、きつてかで表はす所を。

倉橋 きれいに、スリツと丸がされたのはうまいが、きちんときれ揃はないギザ／＼の丸も亦、却つて味のあるもの。

及川 よくハサミをつかひこなせる子で、少しも紙

からハサミを離さないで、梨の皮をむく様に、丸くされるのがあります。

倉橋 藝當主義だ。

堀 それならば、製作慾を満足させる所をねらふか。

倉橋 製作の初期をぞね。材料を支配する所だから。紙屑でも丸めると、征服の愉快があるから。征服してゐてのあとから、説明を何とかつけるかもしれないが。

及川 私の組では、今、一番、この仕事を澤山して居ります。

倉橋 きつてある月、團子、や兔を並べて見て面白い。貼れば二段の整理になる。今、多くやつてゐるのは先に線をかいておいて、剪るのぢやありませんか。

及川 小さい組では、計畫的にこちらで、線を與へ

て居りますが、大きい組では自分で線をかき下して、きります。

堀 ハサミの練習だけなら、あとは捨てゝもいい。

倉橋 剪つた甲斐がないから貼る。

新庄 「むしろ」のと、「剪る」のと、何方が先でせう。

倉橋 ハサミ——機械の前に「むしろ」があつた。

だけど手縫からミシンになつて。ミシンから手縫に返つた。味を出すために「剪る」「むしろ」一緒にやつてもいいでせう。

新庄 「きり紙」で線のあるものをきる場合は、塗繪で細い所を外に出ないように塗ると同じように注意の集注といふ點にあるとすれば線どほりきれいにきるのがいゝと思ひますが。

堀 ギザ／＼にしようと思つてきつたのは目的に添つてゐる。

倉橋 ギザギザ／＼になつて却つていゝとも思へるのは線のない時、線のある時は、線に添はなく

ちやいかん。

新庄 線のないものを剪る場合、むしろ致しますと、子供の頭の中に描いてゐる或る形の線が子供の指先から直接出て來ると思ひます。缺ではどうしても現はす事の出来ない、よい、線で形を出します、缺では刃が一直線ですから、ギザ／＼の味はうすいと思ひます。

倉橋 總を引いておいてならば、ぬりゑと同じもの線がなければ自由畫に近い。

及川 そんな意味でやつて居ります。

倉橋 「はりゑ」の方はあとの場面の調和、コントラストを重く見るが、「きり紙」は「はりゑ」になるので混雜しますが、「きり紙」は「それ一つでよい。」及川 私達は、きり紙、貼り繪の區別をつけて居りません。

倉橋 繪と違つて、思ふ様にいかぬ。それで紙を征服した喜びが起る。物を征服するのは紙、砂く

らゐるもの。

「さり紙」は、所謂、立體的目的製作と比較したら、生活的意義に於て、其んなにえらいものではない。

新庄 それではつまり幼稚園の切紙は線のあるものをさつたり、無いものを切つたり、むしつたりいろ／＼まぜ合せてしてゐてよいのでございませうね。

新橋 さうですね。

新庄 それぢやこちらでは今のところいゝあんばいにしてゐるわけがございますわ。

堀 さり紙する分量は多すぎやしないか。

新庄 一週に一度ぐらゐしかやつて居りません。

堀 材料が紙で、安上りだから、緊縮の時節柄、

これをしば／＼やるのぢやないか。

徳久 紙は何の位の大きさですか。

及川 畫用紙八つ切大位を最大として色々の模造紙

を箱に入れて一つづつ各の机によつてそれから幼児が入用な紙だけとる様にしてゐます。

堀 先生が貼るのだらう、これなんか。子供が貼るのが本來だ。

及川 本來ですが、汚くなるし、のりが不經濟だから。此方で貼つてしまひますの。

新庄 折角よくきつたものを、子供に、きたなく貼らせちや惜しいから、つひ。のりづかひは六つかしい。

及川 會計で、幼稚園ではのりを食べるのですかつて驚いてゐますの。餘りよく請求しますの。

堀 先生が貼れば、貼り繪ではなくて、立派に「さり紙」。一體に貼り繪は程度が高い。

倉橋 貼るのは何でもない。貼つてやつていゝぢやありませんか。只、位置の問題です。並べ方をきしながら。

堀 それならハサミつかひだつていらないよ。

教育價值からいへば、ネバくしたのり扱ひこそ、幼稚園からやつておく必要がある。

倉橋 でも、大學だつて、やつてやしない。

(一同哄笑)

及川 經師屋さんのおかげになりますか。

堀 金箔貼りは、大變だからね。

倉橋 職業教育、特殊教育をはじめるかね。

堀 西洋の油繪の具塗りだつて練習がなかくいる。

倉橋 食べられるようにも練習したもんだ。

(話は食に着いた。時に秋の日も既に夕刻、と、急にしやべり勞れの空腹を覺えて、運ばれたごちそうの方に、何時の間にやら座談會は流れて行つた。)

保育談話會

十月五日、土曜日の午後一時から、本會主催で、東京女子高等師範學校附屬幼稚園で保育談話會を致しました。話題は「秋季に於ける觀察について」府下の各園から來會者百四五十人。各園さまの觀察の實際や又、意見を話合つて大變盛會でございました。

震災以前にはこの種の集りを屢々開いて、幼稚園教育の研究に資して居りましたのが久しく絶えて居たものです。この盛會を機會として、今後は時々開催いたします。

なほ、この談話會の話は來月號誌上に掲載いたします。